

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	ICT を利用した医療機関での脳卒中急性期診療の包括的改善のためのスキーム開発のための多機関共同観察研究		
② 実施予定期間	承認後 ～ 2024 年 3 月 31 日		
③ 対象患者	2020 年 10 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに当院に搬送された発症 24 時間以内の脳梗塞と診断された方のうち、rt-PA 投与もしくは血管内治療を受けられた患者様		
④ 対象期間	2020 年 10 月 1 日 ～ 2023 年 12 月 31 日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	脳血管内科		
⑦ 研究責任者	氏名	福嶋由尚	所属 脳神経センター
⑧ 使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 年齢、性別、身長、体重、脳卒中病名、入退院日、来院時情報（救急搬送の有無等）、治療に関係した時間情報、発症前後の身体状況、既往歴、合併症、重症度、症候性出血の頻度、画像データ、血液データ		
⑨ 研究の概要	脳梗塞とは、何らかの原因で脳を流れる血液が不足し、脳細胞が障害される病気です。主な原因は動脈硬化や心房細動などの不整脈で、主な症状としては、麻痺、感覚障害、呂律の周りにくさなどが現れます。発症後間もない脳梗塞では、詰まった血管の先にまだ完全に脳細胞が死滅していない領域が存在し、その部分の脳細胞を救うために血管の再開通療法が行われる場合があります。Recombinant tissue plasminogen activator (rt-PA) 静注療法や血管内治療といったこれらの方法は、発症早期に行うほど効果が得られやすいと言われています。そのため現在、病院到着から治療開始までの時間を短縮するために世界中で様々な工夫がなされています。その 1 つとして、脳卒中急性期診療支援する Task Calc. Stroke 3 (タスカル 3) という IT システムを導入することにより医療現場での情報共有がスムーズになり、来院から治療開始までの時間が短くできることが期待されています。今回の研究では、多施設での同プログラム導入による治療開始までの時間短縮効果を明らかにすることを目的としています。		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		

⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします。	
⑫ 個人情報の保護	個人情報を守るために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。	
⑬ 知的財産権	聖マリア病院に属します	
⑭ 研究の資金源	なし	
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。	
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。	
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 脳神経センター 福嶋由尚	
	電話	0942-35-3322（代表）